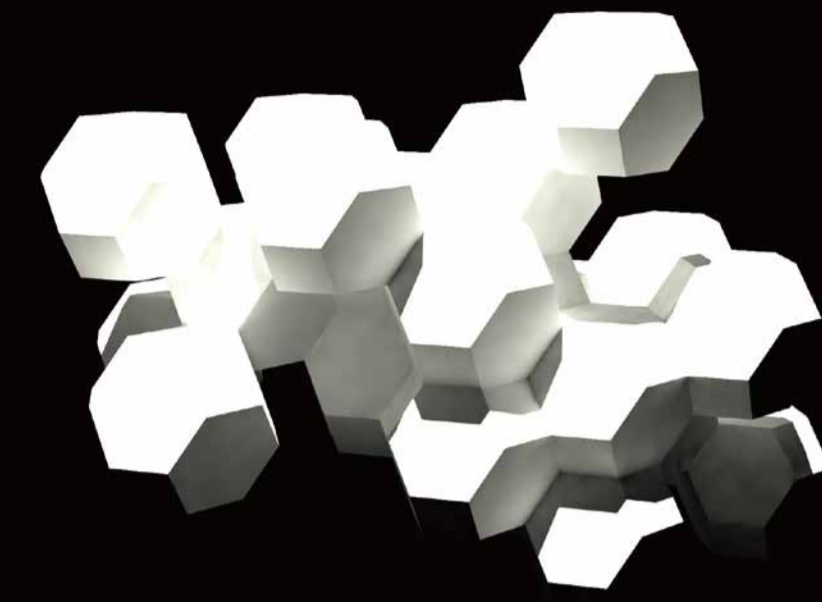


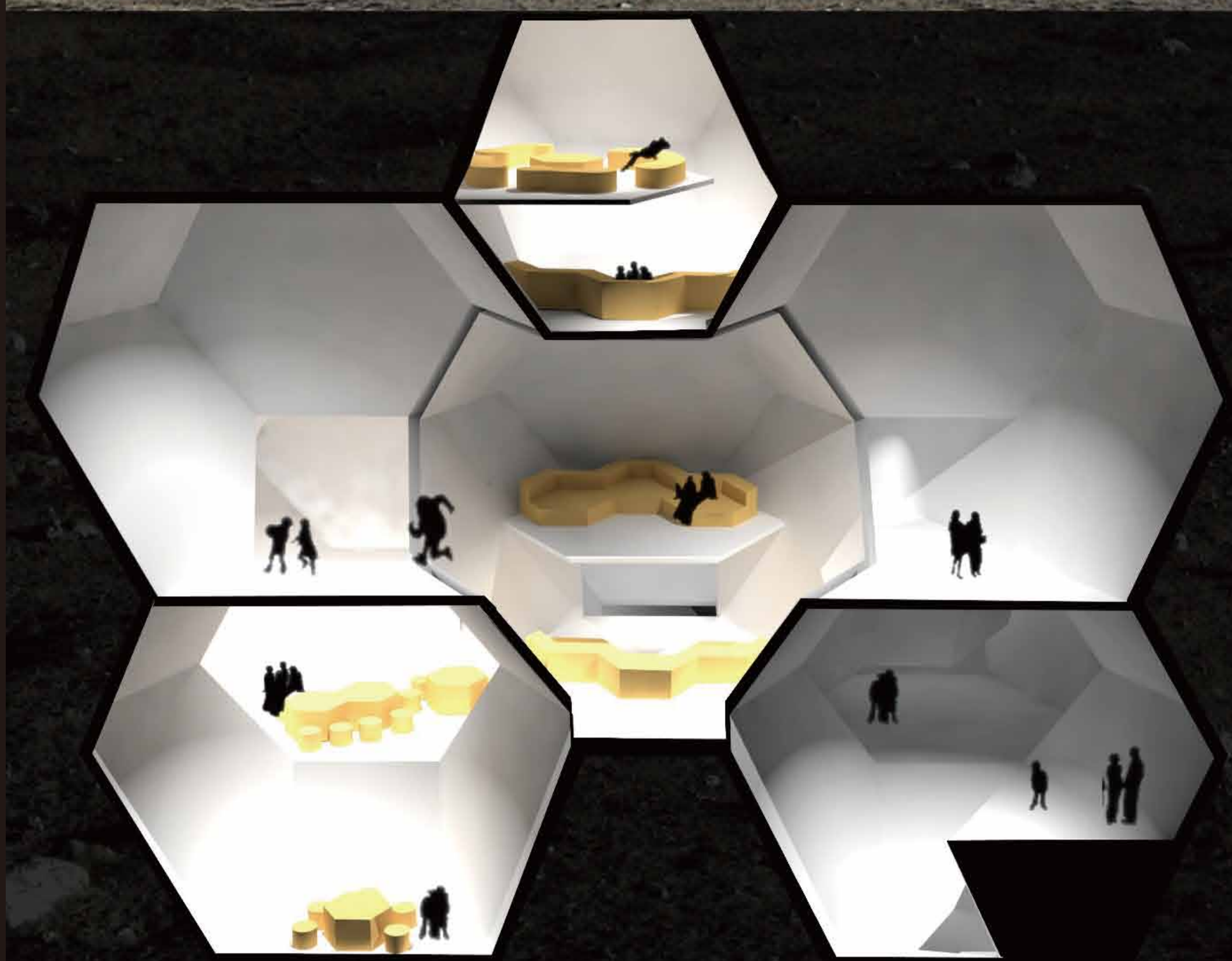
# 6HEXA

Ryohei Sato Takayoshi Hariu Mizuki Yamana

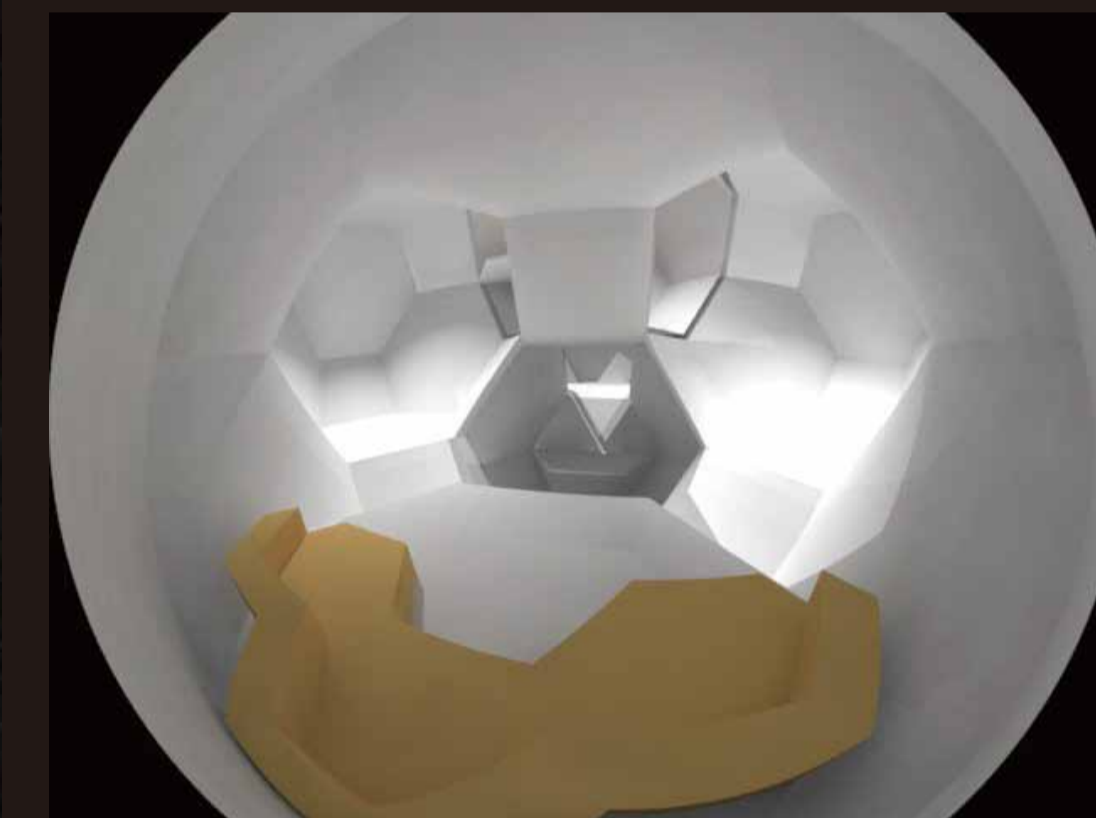
10世帯という極端に限られた人間が、限られたスペースで居住するとき、そこで人々はどう生活し、かかわりあっていくのか。地球の歴史上、人は地域や家族など、ヒューマンスケール領域で活動してきた。しかし近年、地球上ではグローバル化が進み、人間個人の活動領域は広がり続け、個人は常に全世界とかかわり、生活している。そしてそれは裏腹に、住戸は個人の空間を充実させるようになっていった。しかし月面では過去の暮らしに戻る。月面では限られたスペースと資源で協力し生活していた明治時代以前の人間の関係性が見えるだろう。そこで、今回月面での共同住宅を提案する。



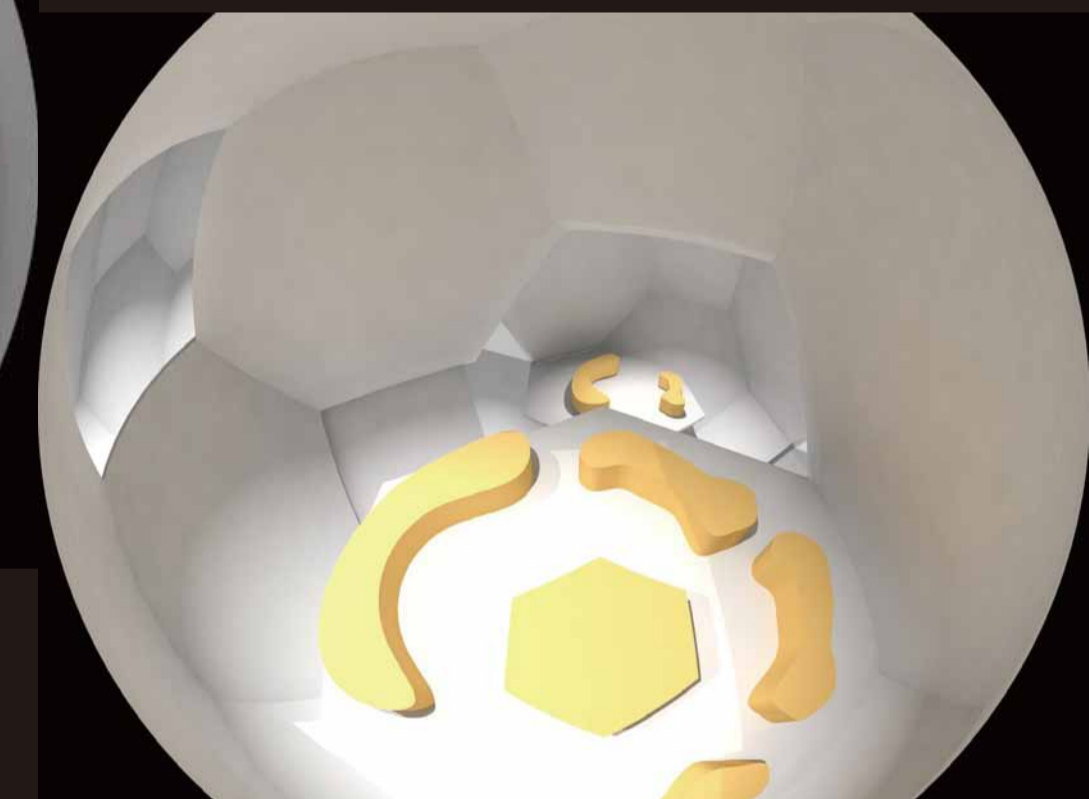
全体外観図



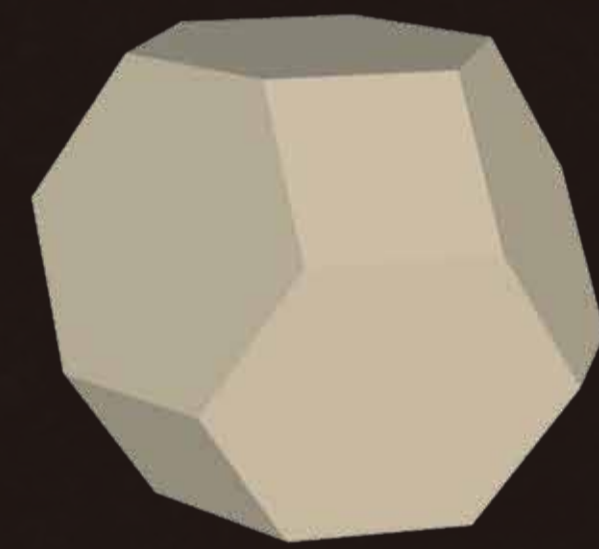
短手方向断面パース



共有部内観パース



共有部内観パース



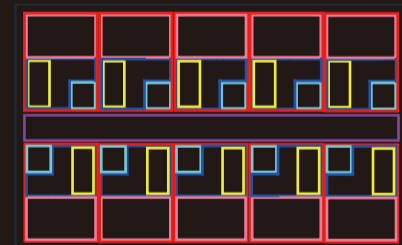
切頂八面体

一辺3mの正方形と正六角形のみ使用した多面体。この利用により、日常生活に必要な平面空間を確保しつつ、立体的で自由な空間移動が可能となる。また、高い充填率の多面体を用いることで、人と人との距離を縮めつつ、広がりのある空間を演出する。

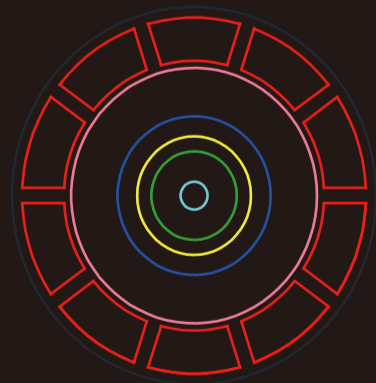
長手方向断面パース

## DIAGRAM

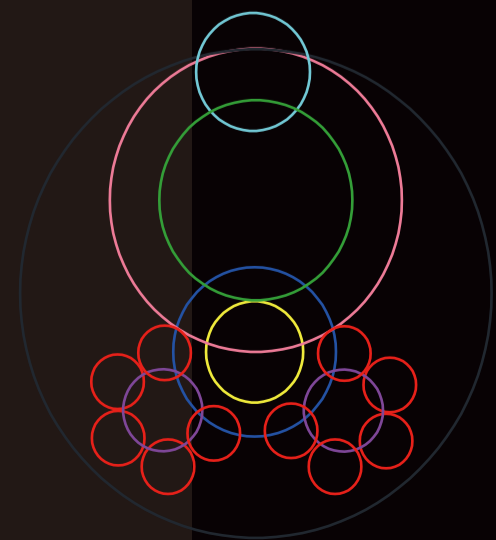
日本における集合住宅の型  
プライベート空間 ≧ コミュニティ空間



月面での人間関係に重点を置き、  
プライベート空間 ≦ コミュニティ空間  
とすることで、共有部分が生まれる。  
また、水などの資源の有効利用を考慮し  
水回り、LDKを共有する。

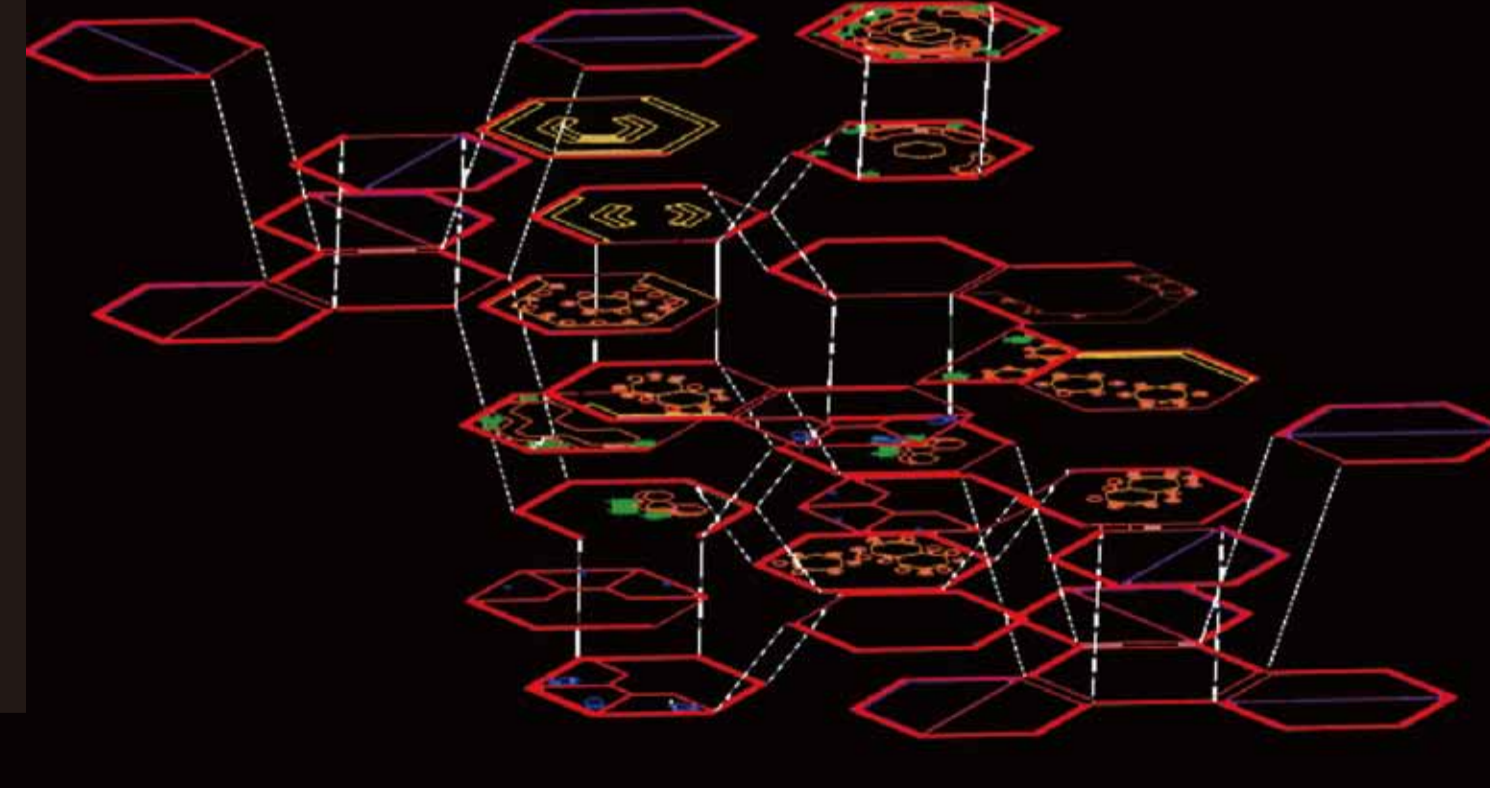


縦の関係性を考慮に入れ、  
再配置する。

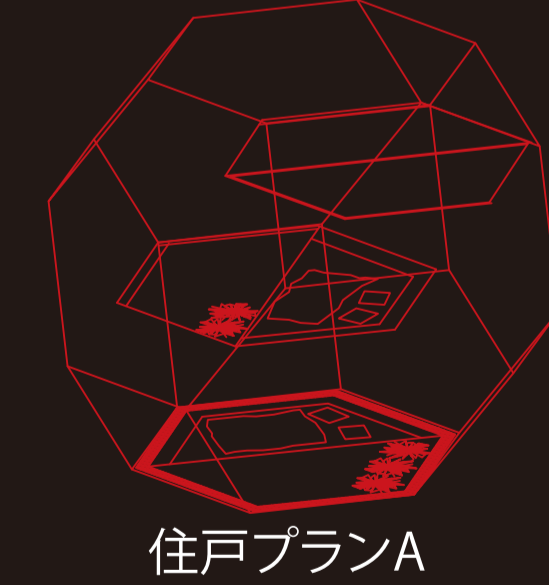
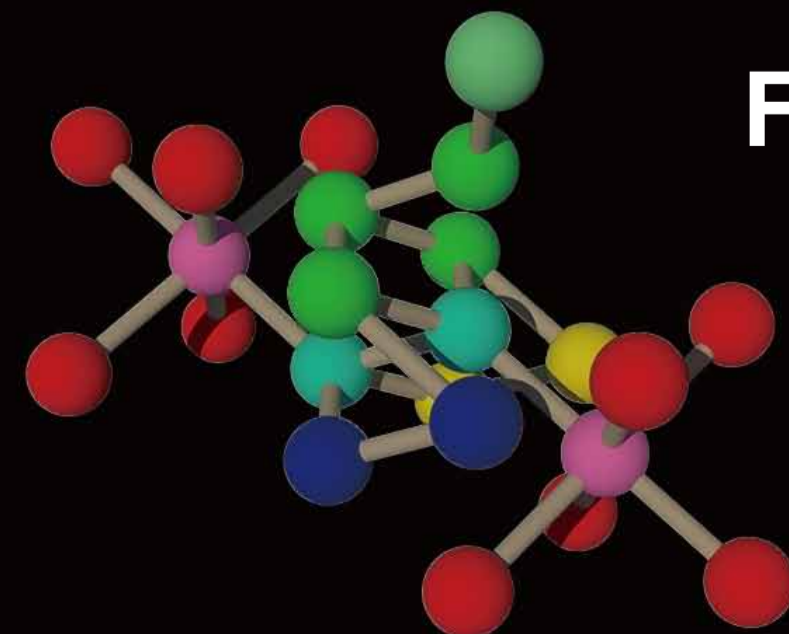


## COCEPT

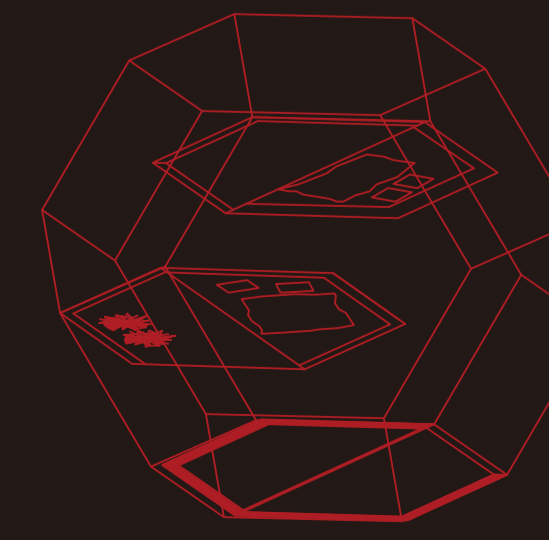
月面らしい共同住居とは何か。  
月面における最大の特徴は地球の1/6の重力である。  
そのため、上階、下階の距離感は縮まり、  
地球上では途切れてしまう縦の関係性を  
強化することを考えた。  
従来の住宅は2次元的な空間構成だったが、  
この住宅では3次元的な空間構成が可能になる。



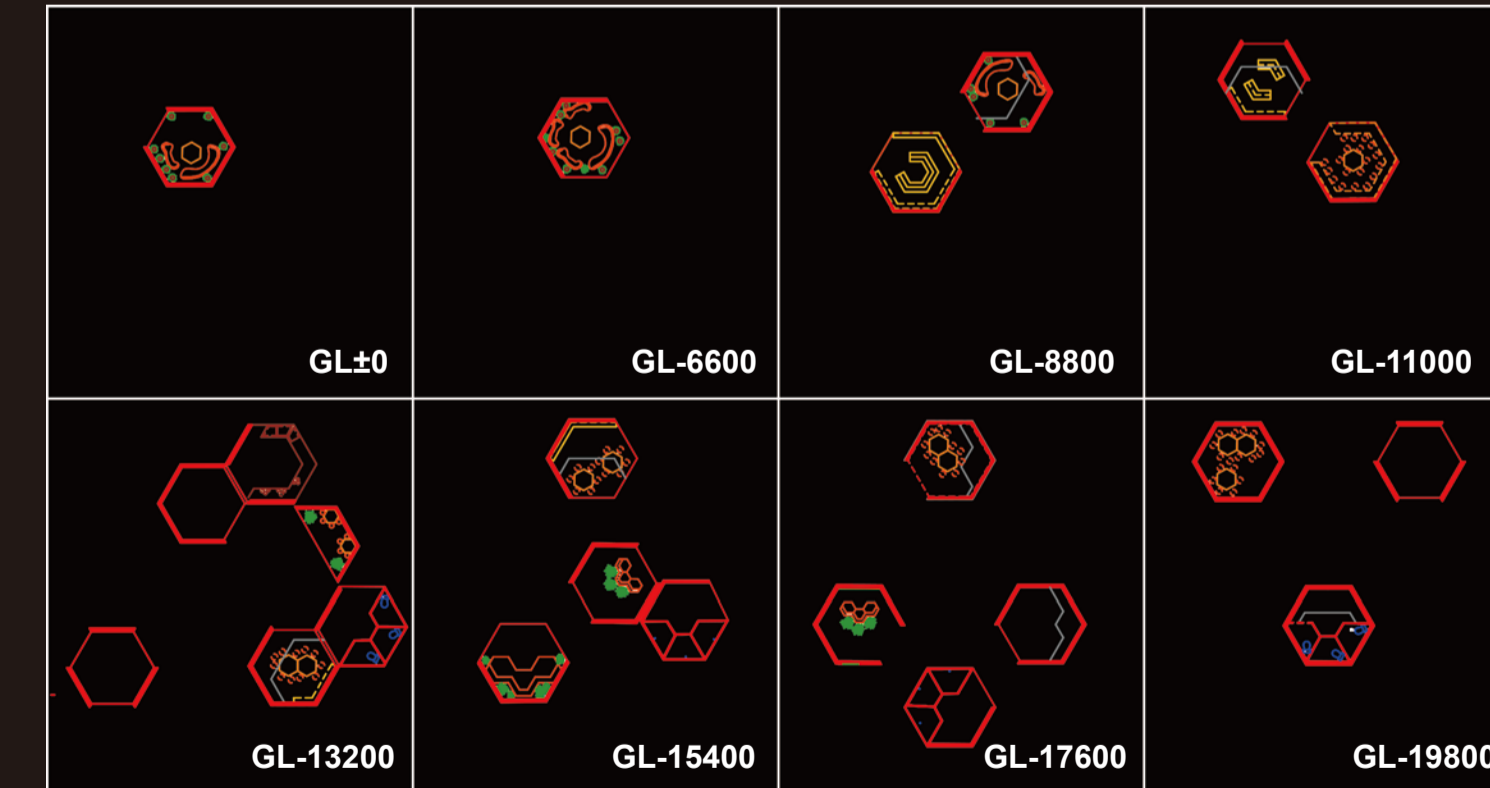
## FLOW PLAN



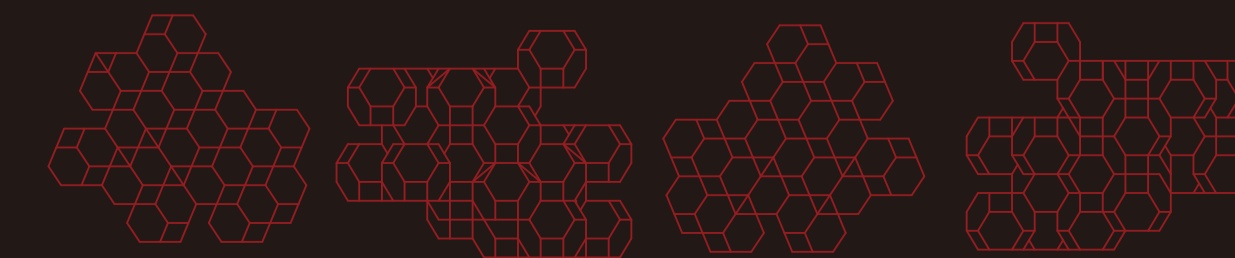
住戸プランA



住戸プランB



レベル別平面図 1:500



各方向立面図 1:1000